



町に関する話題やイベントなどイメージアップ戦略係が取材したできごとをご紹介します。

チーム一丸たすきをつなぐ

第43回益城町一周駅伝大会

益城町一周駅伝大会が2月28日、町陸上競技場をスタート・ゴールとする全19.3km、8区間のコースで行われました。

23(中学10、体協6、一般7)チームが参加した今大会。雲一つない晴天にも恵まれ、コース沿道にはたくさんの人たちが並び、力走する選手たちに大きな声援と拍手を送っていました。

出場した選手たちは沿道の声援に後押しされ、次の選手に1秒でも早くたすきをつなぐと、懸命の走りを見せていました。



▲町陸上競技場を一齐にスタートする1区の選手たち
◀トップを守り、たすきリレーを行う木山体協チーム。後続は広安体協Aチーム(平田上公民館前の第6中継所)

中学の部では、益城Aが2区で先頭に立つと、各区间安定した走りでリードを保ち、そのままゴールテープを切りました。

体協の部では、木山体協が5人の区間賞を出す、前評判どおりの実力を発揮しました。1区で飛び出すと序盤から快走。広安体協Aの、中盤の激しい追い上げを振り切って連覇を果たしました。

一般の部は、2区でトップに立った益城西原消防クラブがそのまま独走。結果、2位に3分半の大差をつけて圧勝しました。

競技終了後には、町婦人会が五目御飯と豚汁を振る舞い、選手や役員たちの疲れを癒しました。

上位の成績

【中学の部】①益城中A(1時間6分13秒) ②木山中(1時間7分10秒) ③御船中(1時間11分29秒) 【体協の部】①木山体協(1時間3分49秒) ②広安体協A(1時間4分33秒) ③飯野体協(1時間11分7秒) 【一般の部】①益城西原消防クラブ(1時間12分55秒) ②高遊原自衛隊付クラブ(1時間16分25秒) ③益城ルネサンス熊本FC(1時間18分41秒)

青春を懐かしみながら歴史に幕

北向のソフトボールチームが解散試合を実施

2月27日、北向のソフトボールチーム・ミユキーズが、町民グラウンドで解散試合を行いました。

全盛期には、町の大会の最上クラスで活躍していたチームも高齢化と後継者不足には勝てず、やむを得ず約25年の歴史に幕を降ろしました。

昨年からの休止状態で、久しぶりのゲームとなった選手たちは、「昔は…」と熱く燃えた青春の一ページを懐かしみながらハッスルプレーを見せるなど、終始和やかな雰囲気の中、爽やかな汗を流しました。



解散試合でさわやかな汗を流したミユキーズのメンバーたち

Best Smile

今月のベスト笑顔

